

ようじえんだより 2023年度2月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

2月主題『わかちあう』

主題聖句：喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙12章15節

☆ 0歳児：保育者と一緒に祈ろうとする。保育者や友だちとやり取りしながら模倣遊びを楽しむ。冬の自然を感じながら遊ぶ。(保育者は)一人ひとりの育ちや個性を受け止めて丁寧に関わる。

☆ 1～2歳児：自分の言葉で神さまとお話する。友だちの存在や思いに気づいて自分の思いと友だちの思いが違うことがあることを知る。自然の不思議さや面白さに気づき楽しむ。(保育者は)一人ひとりの育ちを捉えながら、豊かな関係性が生まれてくる環境をつくっていく。

☆ 3歳児：礼拝を喜び、生活の中で自分から讚美したり祈ったりする。子ども同士で遊びを分かち合い、試行錯誤を楽しむ。寒さの中にも少しずつ春が近づいていることを感じる。(保育者は)成長する姿を保育者間や保護者と分かち合う時をもつ。

☆ 4～5歳児：イエス様に繋がっていること、私たち一人ひとりを知ってくださることを感じ安心して過ごす。互いの存在を認め合い、何でも言い合える関係の中で、心躍らせながら遊びを深めていく。春の到来を待ち望みその備えをする。(保育者は)子どもと保護者の思い(不安)に寄り添い、次の生活への歩みを支える。

乳幼児期の子育てにおいて大人が気をつけること⑩～ほどほどの親でいい～

私が前任地の幼稚園で働き始めた2001年頃、乳幼児教育界でパーフェクトペアレントという言葉をよく聞きました。身なりも社会的な肩書も立派な親がパーフェクトチャイルドを育てるべく、育児書を読み漁り(育児書を読むこと自体は良いことです)幼い頃から公文などのお勉強系だけでなく水泳や体操、ピアノなど様々なお稽古事を習わす保護者の方が増えたことがありました。その結果、自信をつけたお父さんもいたのですが、我が子の成果に一喜一憂し、子どもの思いを無

視した親の一方的な思いの押しつけもあったようです。子どもの思いを受け止め、寄り添う形で応答することが極端に少ない場合、子どもはかえって自信をなくしていきます。

たとえ血のつながった親子であっても子どものすべてを理解し、適切な対応を完璧にすることなどできません。「完璧な親にはなれないけど、あなたのことが大好き。生まれてきてくれてありがとう」という思いをもちながら共に成長していこうとする「ほどほどの親(グット イナフ ペアレント good enough parent)」で十分じゃないでしょうか。

園長 久保田愛策

年間主題『ともにつむぎだす～希望の中で～』

主題聖句：キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章17節